

コース概要

1	コース名	ゲンバの日本語
2	目標 (できるようになること)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業人材が遭遇しそうな場面で日本語を使った活動ができる。 ・日本企業での適応能力を高める。
3	受講対象者	<p>初級レベルの日本企業で研修・就労・実習をする産業人材</p> <p>レベル1 …『みんなの日本語 初級Ⅰ〔第2版〕』13課程程度までを学習した方 レベル2 …『みんなの日本語 初級Ⅰ〔第2版〕』25課程程度までを学習した方 レベル3 …『みんなの日本語 初級Ⅱ〔第2版〕』48課程程度までを学習した方</p> <p>・日本語に自信がないからか、報告や相談ができず、あいまいなまましてしまう。 ・JLPT N3～N5に合格しているが、職場で話したり聞いたりするのがまだ苦手。</p>
4	期間	約2.5か月（週2時間の場合）
5	受講時間	全20時間
6	受講人数	1～3名
7	クラス形態	遠隔(オンライン)
8	学習内容	<p>①話題・場面／タスクの目標を確認する</p> <p>ユニットのテーマとなっている言語活動やその場面について理解し、「何ができるようになるか」という目標を確認する。</p> <p>(例) Unit7 話題・場面：研修の予定について担当者に確認する。 目標：わからないことを質問したり、聞いた内容を確認したりすることができる。</p> <p>②タスクを行う</p> <p>テーマとなっている言語活動を達成する、現実に近い場면을疑似体験するために、各言語活動に即した内容で「調べる」「聞く」「話す」のいずれかのタスクを行う。</p> <p>(例) Unit7 「話す」タスクで行う練習 ・相手の発話の一部が聞き取れなかったとき(あのう、すみません。時間は8時半ですか。) ・相手の発話聞き取れたが、大切なことなので確認をしたいとき(8時半に事務所ですね。わかりました。)</p> <p>③会話練習を行う</p> <p>会話練習を行い、聞いて理解したことを使用できるようにしたり、新しい表現を学び表現に広がりを持たせたりする。また、テーマとなっている言語活動に関連した語彙を、例文を使って覚える。</p> <p>(例) Unit7 会話練習 ・質問する範囲を限定して、疑問点について質問する練習。 (すみません、少し確認してもいいですか。／あしたのミーティングについてですが、どの資料を使いますか。)</p>
9	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・能力チェックシート(コース開始時・終了時の自己評価／復習時の講師による評価) ・最終評価(講師によるコメント、CFERに準拠した評価)
10	使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『ゲンバの日本語 働く外国人のための日本語コミュニケーション』(スリーイーネットワーク) ※レベルに応じて、基礎編又は応用編を選択します。 ・AOTSオリジナル教材
11	その他	